

2022年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
34205	図書館総合演習 Comprehensive Studies in library and Information Science (Seminar)	江良友子		専門	1	選択	2前期
科目の概要							
図書館に関する様々な課題について深く理解するために調査・研究を行い、それらの解決策を社会に発信する力を身につけるためにグループでの発表、討議を行う。課題は受講者の興味・関心に応じてそれぞれ設定する。発表は学期の中間と終わりの2回行う。これまで学んできた図書館が抱える様々な問題に対して、自分なりに考え、提言できる能力を身につける (pisa型学力の獲得)。							
学修内容				到達目標			
① 図書館に関する問題や課題について理解する。 ② 問題・課題を整理して調査につなげることの重要性について理解する。 ③ グループ単位で調査・研究・発表を行う。 ④ 研究成果発表を行う。 ⑤ 発表後、討議を行う、演習結果の反省点を知る。				① 図書館に関係する問題・課題を考察することができる。 ② 図書館に関係する問題・課題をまとめ、調査することができる。 ③ 発表に向けて教員と相談しながら、調査を進めることができる。 ④ 聞き手にとってわかりやすい発表をすることができる。 ⑤ 他グループの発表を評価することができる。討議を通じて自分のグループの研究・発表の改善点を導き出すことができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	自ら進んで、図書館を利用できる。					
	働きかけ力						
	実行力	自ら進んで調べることができる。					
考え抜く力	課題発見力	これまで学んだことを活かし、図書館サービスの課題を考えることができる。					
	計画力						
	創造力	利用者の視点から図書館を利用しやすくする方法を考えることができる。					
チームで働く力	発信力	聞き手に伝わるプレゼンテーションの方法を考え、実践することができる。					
	傾聴力	話を聞くときはメモを取りながら、相手の目を見て相槌をうつなどして聞くことができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻・無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：必要に応じて資料を配布する 参考文献：授業の中で提示する							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：図書館に関する科目全て 資格との関連：図書館司書							
学修上の助言				受講生とのルール			
この演習を通して、現代の図書館が抱える課題について学び、図書館に対する興味、関心を広げるよう努力すること。 関心を有するテーマについて研究を進めながら、他の発表者のテーマについても興味を持ち、質問や意見を言えるように準備すること。				6回以上の欠席は0(放棄)判定となる。 授業時間内に発表準備を完成させることは難しいため、授業時間外に図書館を利用するなどして調べ、論点を整理してグループ発表に臨むこと。 調査、研究についての相談及び進捗状況の報告は、教員と隔回毎に行うこと。 資料を作成するために、他の図書館から文献・資料を取り寄せる必要がある場合は、費用は自己負担となる。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
					④		
					⑤		
		レポート		40	①	✓	
					②	✓	
					③		
					④		
					⑤		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		50	①				
			②				
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S（秀）評価 中間発表と最終発表の際に提出する発表用資料が、評価のポイントに基づき、作品の総合点が36点以上獲得できている。 中間発表と最終発表の評価ポイントに基づき、総合点が45点以上獲得できている 社会人基礎力にある学修態度が9割以上達成できている。 その他において、教員への相談・報告がもれなく行われている。</p> <p>A（優）評価 中間発表と最終発表の際に提出する発表用資料が、評価のポイントに基づき、作品の総合点が32点以上獲得できている。 中間発表と最終発表の評価ポイントに基づき、総合点が40点以上獲得できている 社会人基礎力にある学修態度が8割以上達成できている。 その他において、教員への相談・報告が概ね行われている。</p>	<p>B（良）評価 中間発表と最終発表の際に提出する発表用資料が、評価のポイントに基づき、作品の総合点が28点以上獲得できている。 中間発表と最終発表の評価ポイントに基づき、総合点が35点以上獲得できている 社会人基礎力にある学修態度が7割以上達成できている。 その他において、教員への相談・報告が行われている。</p> <p>C（可）評価 中間発表と最終発表の際に提出する発表用資料が、評価のポイントに基づき、作品の総合点が24点以上獲得できている。 中間発表と最終発表の評価ポイントに基づき、総合点が30点以上獲得できている 学社会人基礎力にある学修態度が6割以上達成できている。 或いは達成には至っていないが努力している。 その他において、教員への相談・報告が行われている。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	研究を進めるための準備① 研究テーマの設定（基礎知識の獲得・活用）	講義 質疑応答 演習	各自が考えてきた研究テーマを共有することができる。	(第1回予習) 各自が図書館について研究したいテーマを準備して臨む。 (復習) 時間内に研究テーマが決定しなかった場合は、研究テーマを決定する。 (予習) 研究テーマを絞り込み、研究計画を作成する準備をする。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
2	今後の研究テーマを進めるための準備②（基礎知識の獲得） レポート作成の方法 ビデオ：「レポート・論文作成法」 研究テーマの絞り込みと計画の作成を行う	講義 ビデオ 演習	研究テーマを決定し、グループに分かれて研究プロセス等を検討し、研究計画を作成することができる。 レポート作成の手法を理解できている。	(復習) 研究プロセス等を考え、研究計画を作成する。 (予習) レポート作成にとって重要な項目を7点書きだす。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
3	調査のための資料準備①（基礎知識の獲得） 資料収集を行う。	調査についての相談（奇数グループ） 演習	文献資料を収集し、文献リストを作成することができる。	(予習) 関係データベースを利用して各自必要な資料収集の準備をする。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
4	調査のための資料準備②（基礎知識の獲得） 調査を行う	調査についての相談（偶数グループ） 演習	事例、データを収集することができる。	(予習) 新聞記事データベース等を利用して、各自執筆に必要な事例、データを収集して準備する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
5	研究活動①（基礎知識の獲得・活用） 資料・データの検討を行う	調査についての相談（奇数グループ） 演習	収集された資料・データをグループで検討することができる。	(予習) 事例、データ収集で足りないところを補足する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
6	研究活動②（基礎知識の獲得・活用） 資料・データの検討を行う。	調査についての相談（偶数グループ） 演習	収集された資料・データをグループで検討することができる。	(予習) 役割分担をして「中間まとめ」の発表に向けてまとめる。 発表に向けて、レジユメの作成を行う。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
7	発表会：奇数グループ「中間まとめ」の発表を行う。 (基礎知識の活用・応用)	プレゼンテーション 討議 フィードバック（口頭でコメント）	発表を行い、全体で発表テーマについて討議することができる。	(予習) 20分程度の中間まとめの発表ができるようにレジユメに沿って発表内容を整理する。質問にも回答できるように準備する。 (復習) 発表感想・振り返りができるように600字程度にまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 規律性
8	発表会：偶数グループ「中間まとめ」の発表を行う。 (基礎知識の活用・応用)	プレゼンテーション 討議 フィードバック（口頭でコメント）	発表を行い、全体で発表テーマについて討議することができる。	(予習) 20分程度の中間まとめの発表ができるようにレジユメに沿って発表内容を整理する。質問にも回答できるように準備する。 (復習) 発表感想・振り返りができるように600字程度にまとめる	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	研究活動（基礎知識の活用・応用） 研究計画の再検討を行う。	調査についての相談（奇数グループ） 演習	「中間まとめ」をチェックし、「最終発表」に向けて研究計画の見直しをすることができる。	（予習） 中間発表で指摘された事項を取り入れて研究計画を見直す。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
10	データの収集 補足資料の収集を行う。（基礎知識の獲得・活用）	調査についての相談（偶数グループ） 演習	計画の見直しに基づき、補足すべき資料・データを収集することができる。	（予習） 見直しに沿って発表資料をまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
11	「最終発表」の準備①（基礎知識の活用・応用） 最終発表のための準備を行う。	調査についての相談（奇数グループ） 演習	「最終発表」のため、検討事項を整理することができる。	（予習） 最終発表で使用するレジュメを作成する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
12	「最終発表」の準備②（基礎知識の活用・応用） 最終発表のための準備を行う。	調査についての相談（偶数グループ） 演習	「最終発表」のための発表資料（パワーポイント、レジュメ）を作成することができる。	（復習） 最終発表で使用するレジュメを仕上げ、PPを作成する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
13	最終発表会：奇数グループ（基礎知識の応用） 最終発表会を行う	プレゼンテーション 討議 フィードバック（口頭でコメント）	発表を行い、全体で発表テーマについて討議することができる。	（予習） 20分程度の発表ができるようにレジュメに沿って発表内容を整理する。 質問に回答できるように準備する。 （復習） 発表感想・振り返りができるように600字程度にまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
14	最終発表会：偶数グループ 最終発表会を行う（基礎知識の応用）	プレゼンテーション 討議 フィードバック（口頭でコメント）	発表を行い、全体で発表テーマについて討議することができる。	（予習） 20分程度の発表ができるようにレジュメに沿って発表内容を整理する。 質問に回答できるように準備する。 （復習） 発表感想・振り返りができるように600字程度にまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
15	まとめ 成果発表から反省・改善点を学ぶ。（基礎知識の応用）	発表 講評	演習の成果、課題について全体で話し合い、評価することができる。	（予習） 発表感想・振り返りができるように600字程度にまとめる。	60	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力